

北日本学会発第 41 号  
平成 30 年 9 月 18 日

都道府県臨床（衛生）検査技師会  
会長 各位

平成 30 年度日臨技北日本支部医学検査学会（第 7 回）  
学 会 長 齋藤 浩治  
実行委員長 石山 雅大

平成 30 年度日臨技北日本支部医学検査学会（感染制御部門）における意見募集について（依頼）

謹啓

初秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当会に対し格別のご指導とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成 30 年度日臨技北日本支部医学検査学会において感染制御部門では教育カンファレンス「中小病院での抗菌薬適正使用支援における検査室の取り組みについて考える」を実施いたします。「抗菌薬適正使用支援（Antimicrobial Stewardship：AS）」は、感染防止対策と共に薬剤耐性（Antimicrobial resistance：AMR）対策を推進するための重要な取り組みの一つであり、2017 年には感染症関連 8 学会から「抗菌薬適正使用支援プログラム実践のためのガイダンス」が発行され、さらに 2018 年の診療報酬改定では「抗菌薬適正使用支援加算」が新設され活動の推進が図られております。しかしその一方で、中小の施設においては専門職の不在や人員の不足といった体制づくりに関する問題、活動内容・評価指標に関する問題、細菌検査を外注されている施設の問題など、AS 活動を行う上での課題も指摘されております。そこで、本カンファレンスでは、活動環境が十分ではない施設において AS にどう取り組めばよいのか、ディスカッションを通してみんなで考えてみたいと思います。

つきましては、各ご施設の AS 活動における取り組みの紹介、AS 活動における問題点・課題に関すること、提案、疑問、質問など幅広くご意見を募集いたします。皆様方からいただいた意見、情報を基にディスカッションを進めたいと思います。ぜひ、多くの意見をお寄せください。ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

方法：別紙「意見報告書（Word File）」にご意見をタイプし、メールのタイトルを「教育カンファレンス意見募集」として下記送付先にファイルをメールに添付してお送りください。

メール送付先：青臨技教育カンファレンス実務担当 弘前市医師会健診センター 月足宛て

E-mail：[tsukiashi@hirosaki.aomori.med.or.jp](mailto:tsukiashi@hirosaki.aomori.med.or.jp)

締め切り：10 月 6 日（土）

お問い合わせ：弘前市医師会健診センター検査課 微生物検査室 月足正辰 Tel：0172-34-6121

なお、お送りいただいた情報の取り扱いについて、ご意見のみ使用し、ご施設が特定されることはありません。

以上